



マーケット・レポート

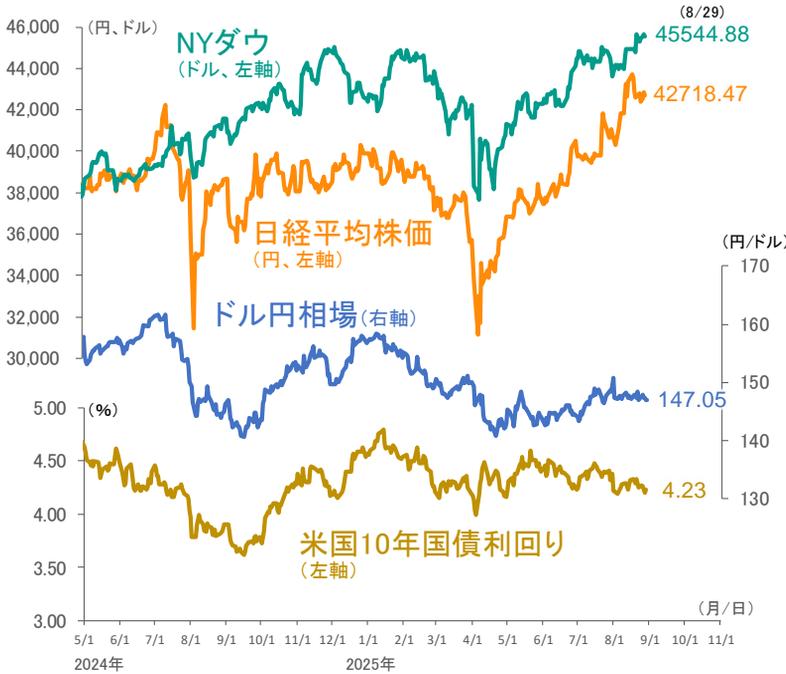
Weekly Guide

2025.9.1

りそなグループのYouTubeで、最新のマーケット情報を配信しております！



主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は、株式市場では高値警戒感と米国の早期利下げ期待が交錯し、もみ合いの展開に。債券市場は、米国債主導で買いが先行しました。NYダウは木曜日に再び最高値を更新しましたが週末に反落し、週間では▲0.2%、ナスダック総合指数は同▲0.2%、日経平均株価は+0.2%で終わりました。10年国債利回りは、米国が前週末比▲2.5bpの4.23%、独は同横ばいの2.72%、日本は▲2bpの1.60%となりました。ドル円は147円台を中心に横ばい圏での動きが続きました。トランプ大統領がクック理事の解任を表明するなどFRBへの介入姿勢を強めています。ドル相場への影響は今の所顕著には出ていません。今週は、米7月JOLT(求人件数)、8月雇用統計がFRBの9月利下げの有無と利下げ幅を見極める材料となります。国内では、氷見野日銀副総裁の講演が予定されています。年内利上げに向けて地均しの内容となるか、注目されます。

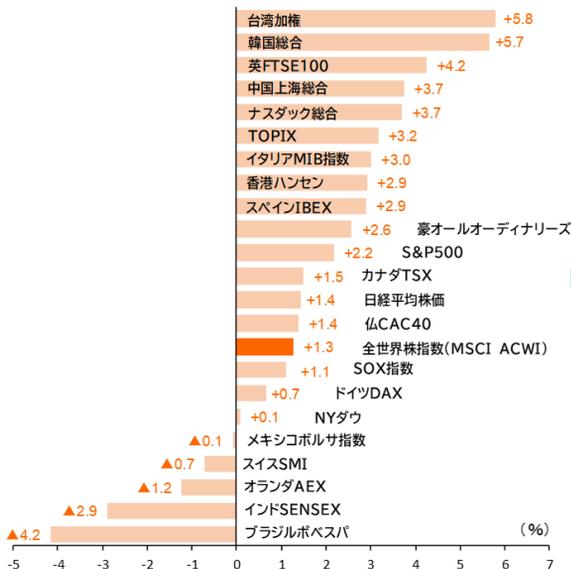
当面の注目イベント

- ★中・8月製造業PMI (1日)
- ◆日・氷見野副総裁講演(金融経済懇談会、創路) (2日)
- ★米・8月ISM製造業・新規受注DI (2日)
- ◆米・7月JOLT(求人件数) (3日)
- ◆グローバル・8月総合PMI (4日)
- ◆米・8月雇用統計 (5日)

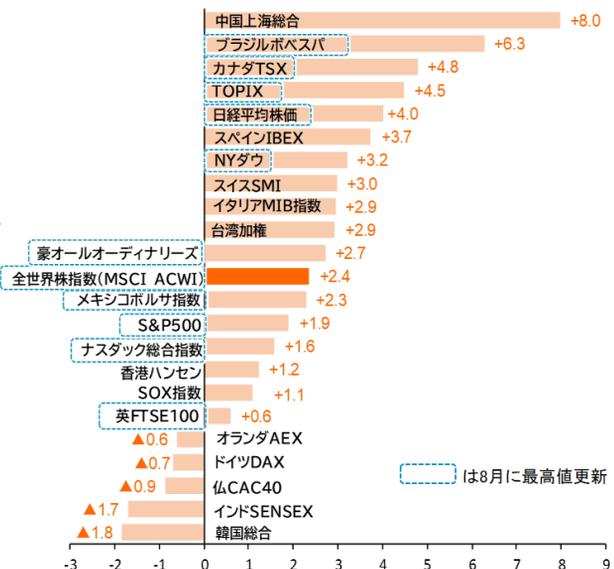
★：りそな景気先行指数関連指標

8月は米国関税交渉の進展やFRBの利下げ期待の高まりを背景に全世界株指数は続伸しました。米国株の高値警戒感が強まる中、出遅れている市場への資金シフトがみられ、日本、南欧、新興国株などの上昇が目立ちました

2025年7月月間



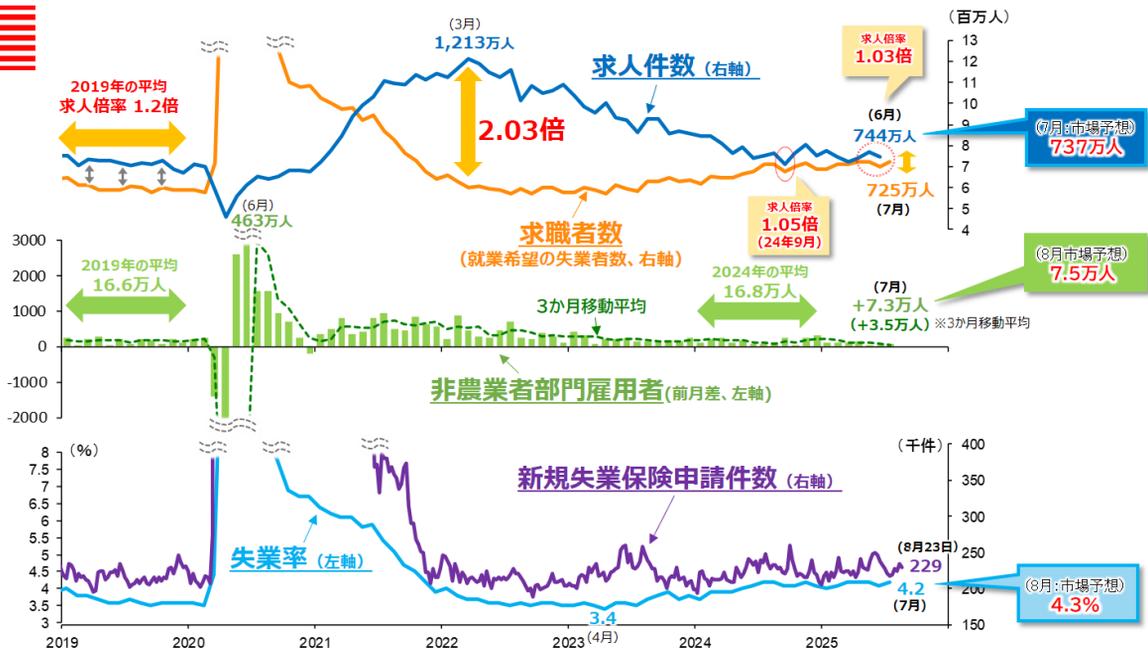
2025年8月月間



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

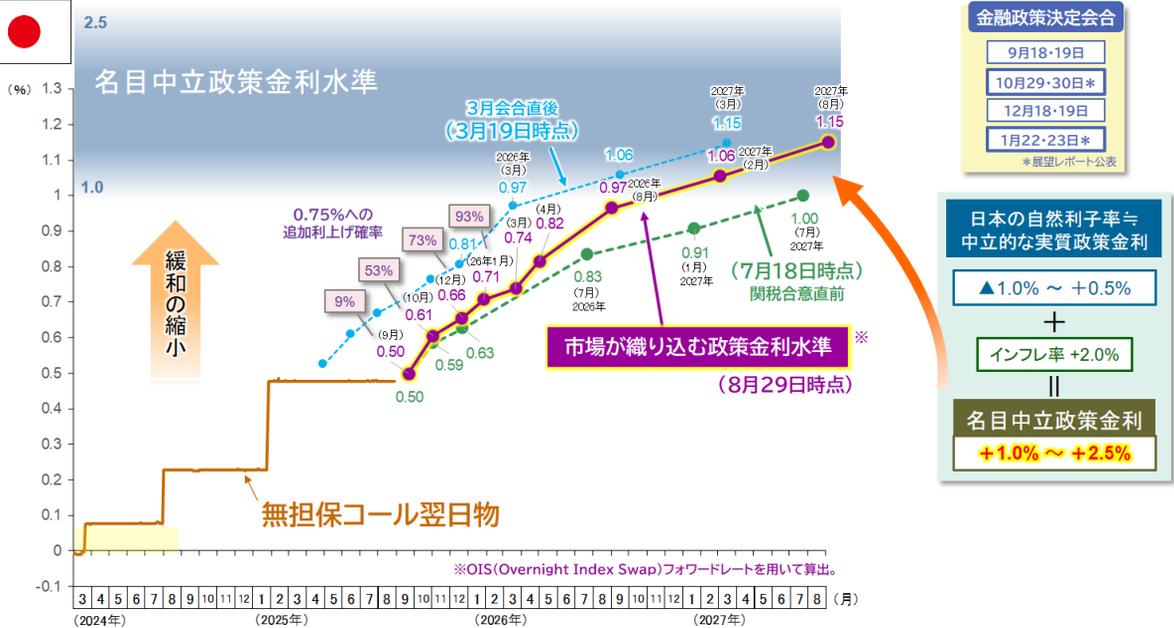
※最終ページの<当資料に関するご留意事項>を必ずご覧ください。

7月求人件数は前月比小幅減の737万人、8月非農業部門雇用者数は+7.5万人、同失業率は4.3%が予想されています。極端に下振れ/上振れしなければ、次回FOMC(16・17日)で0.25%利下げが決定される可能性が高いとみられます



【出所】BLS, Haver Analytics等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

短期金融市場が織り込む「0.25% (0.5%→0.75%) の利上げ確率」は、10月会合が53%、12月会合は73%にとどまります。今週の氷見野副総裁の講演内容を受けて、市場の利上げ織り込みが高まるか、注目されます



【出所】日本銀行、ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

次回は 2025年9月8日 発行予定です

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡する「目論見書補完書面」を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。